

県南広域振興局長様

提出者
住所 〒145-0071 東京都大田区田園調布2丁目16番5号
氏名 株式会社大昌電子
代表取締役社長 菅谷正蔵
(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	岩手工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県一関市藤沢町砂子田字宮ノ脇30	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	6,885 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
岩手工場	〒029-3403 岩手県一関市藤沢町砂子田字宮ノ脇30	6,885 k0
		k0
		k0

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）

69-10

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(令和5)年度					非化石 エネルギー 割合 (%)	削減率 (%)	削減率 (%)	削減率 (%)
		エネルギーの使用量		換算したエネルギー使用量		削減率 (%)				
		数量 A	単位 B	数量 C	単位 D					
化石燃料	原油(コンデンサートを除く)		kL		kL					
	原油のうちコンデンサート(NGL)		kL		kL					
	揮発油(ガソリン)	4	kL	134	kL	134	9	9	0	
	軽油		kL		kL					
	ジェット燃料		kL		kL					
	灯油	1	kL	37	kL	37	3	3	0	
	軽油	3	kL	114	kL	114	8	8	0	
	A重油	1,510	kL	58,739	kL	58,739	4,157	4,092	65	
	石炭(亜炭)		t		t					
	石油コークス		t		t					
	石油ガス		t		t					
	液化石油ガス(LPG)		t		t					
	石油系液化天然ガス		t		t					
	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他化石燃料		t		t					
非化石燃料	太陽光		t		t					
	水力		t		t					
	風力		t		t					
	バイオエタノール		kL		kL					
	バイオディーゼル		kL		kL					
	バイオガス		千m³		千m³					
	その他バイオマス		t		t					
	RPF		t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t					
	廃油		kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m³		千m³					
	水素		t		t					
	アンモニア		t		t					
	その他燃料									
小計①						59,023	4,176	4,112	65	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ					
	暖房		GJ		GJ					
	冷水		GJ		GJ					
	地熱		GJ		GJ					
	温泉熱		GJ		GJ					
	太陽熱		GJ		GJ					
	風力熱		GJ		GJ					
	その他		GJ		GJ					
	小計②									
電気	電気事業者(1)	23,952	千kWh	207,052	千kWh	207,052	11,430	11,642	-212	
	電気事業者(2)		千kWh		千kWh					
	自己発電(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh					
	太陽光		千kWh		千kWh					
	水力		千kWh		千kWh					
	風力		千kWh		千kWh					
	その他	225	千kWh	810	千kWh	810				
	小計③						207,862	11,430	11,642	-212
	合計④=①+②+③						266,885	15,606	15,753	-147

(2) 換油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	5,885	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	15,606 (t-CO ₂)
	上記以外の二酸化炭素	
メタン		t-CO ₂
一酸化二窒素		t-CO ₂
六フッ化硫黄		t-CO ₂
三フッ化窒素		t-CO ₂
合計		15,606 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄は、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年6月に提出した計画書の目標は、エネルギー使用量を令和5年度までに令和2年度比で3%削減削減するとした。結果は下記の通り

	エネルギー使用量 (kL)	エネルギー使用量 の増減(対令和2年度)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	二酸化炭素排出量 の増減(対令和2年度)	電気排出係数 (t-CO ₂ /千kWh)
令和2年度実績	7,813	—	17,280	—	0.522
令和3・4・5年度目標値	7,578	-3.0%	16,790	—	0.522
令和3年度実績	8,129	+4.0%	16,337	-5.5%	0.457
令和4年度実績	7,490	-4.1%	15,753	-8.8%	0.488
令和5年度実績	6,885	-11.9%	15,606	-9.7%	0.477

令和5年度の二酸化炭素排出量についても、対令和2年度比で-9.7%となった。

【具体的な取組状況】

令和3年6月に提出した計画書の取組への状況は下記の通り。

○省エネルギー

①電気

- ・生産計画に沿った設備稼働を継続中
- ・長期連休及び未生産時は、不要な空調機の停止又は設定値緩和を実施
- ・品質改善活動及び生産効率改善活動による無駄遣いの排除

②重油

- ・蒸気漏れ修理へは随時対応
- ・蒸気使用量に応じた蒸気ボイラー稼働台数の調整

○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)

- ①電力会社から再エネ電気プラン導入に関する資料提供を受け、検討を継続中
- ②業者からPPA事業(Power Purchase Agreement : 発電者と電力消費者の間に締結する「電力販売契約」)に関する資料提供を受け、検討を継続中

○自動車利用抑制

- ①宅配便の引取り時刻に合わせた生産計画を継続し、社有車・赤帽の使用抑制を継続して努めている

○輸送の合理化

- ①資材の購入に於いて、運搬ルート・購入ルート等を変更して輸送の機会を減らす活動を継続中
- ②生産状況に応じたトラック輸送の頻度を減らした活動を実施中

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

①工場天窓へ遮光幕設置(夏期)

今年度は5月8日に設置。

②製品歩留り改善によるエネルギーの無駄遣い削減

不良品減少により再工事で使われるエネルギーも減っている